

「汚染米とは無縁」

和菓子店で試食会

葛城・きてみてネット

米穀加工販売会社「三笠フーズ」(大阪市)が転売した事故米流通先として公表され、風評被害に悩む和

菓子店「菓匠庵おのえ」(葛城市新庄)を応援しようよ、葛城市でインターネットを通じて情報発信活動に取り組み「きてみてネット」の吉村始代表(40)らボランティアグループが24日、同店で試食会を開いた。吉村さんらは店頭で草もちをほおばり、「ずっと変わらない味」と買い物客らにPRした。

農林水産省は、2007年12月と今年1月に購入したもち粉計40㌔に事故米が混入した恐れがあるとして、16日に店名を公表した。しかし、納入業者の在庫調査で残留農薬は検出されず、もち粉は冬季に製造する羽二重もちにまぶしたもので、現在販売している製品には使用されていないかったという。

店は彼岸の繁忙期にもかかわらず、公表後は注文のキャンセルが相次ぎ、売り上げは前年の半分以上に落

ち込んでいるといい、店主の尾上碩典ひだのぶさん(61)は「もち米は地元・葛城産を使うなど安全にこだわってきた。風評被害に負けず、のれんの信頼を取り戻したい」と話していた。